

# 広島市歯科医師会だより



Hiroshima City Dental Association

# 12

月号

No.200 (R5.12.12)



Check it out!

『広島市歯科医師会だより』創刊 200 号に寄せて	1
<b>行事報告</b>	
薬と健康のやく薬フェスタ	3
令和 5 年度「8020」いい歯の表彰式	3
令和 5 年度 学校歯科医協議会	4
<b>支部だより</b>	
中区支部	5
東区支部	5
南区支部	6
西区支部	8
<b>ちよつとイイ話</b>	
インボイス制度について(歯科医院・「受け取る側」編～)(総務部)	10
ちよつと一息、サメ肌と歯の発生や他の動物の歯(学術部)	10
新厚生部委員紹介(厚生部)	11
～ハハ姉妹の学校ニュース《8 時間目》「歯医者さんが使う道具」～(地域歯科保健部)	12
<b>各部からの報告</b>	
広島市医療安全推進協議会よりーこんな医療トラブルが起きていますー(総務部)	12
令和 5 年度 全国学校保健・安全研究大会(Web 参加)(地域歯科保健部)	13
今月の知っておきたいこと(広報部)	13
YouTube(広報部)	15
FM ちゅーピー(広報部)	16
<b>会員ひろば</b>	
新入会員紹介	16
LINE 公式アカウント 友達募集	16
会長コラム『笑門來福』クリスマス	17
11 月定例理事会報告	18



# 祝!! だより 200 号



## 『広島市歯科医師会だより』創刊 200 号に寄せて



一般社団法人 広島市歯科医師会  
顧問 熊谷 宏

### はじめに

先日、小島将督広報部理事より、『広島市歯科医師会だより』が 200 号を迎えるにあたり、立ち上げた先生から一文頂きたい、との依頼を頂きました。

退任してたった 4 ヶ月で元会長が出しゃばることに少々抵抗がありましたが、私にとって思い入れの強い『だより』ですので、お受けすることにしました。駄文にお付き合いいただければ幸いです。

### 『広島市歯科医師会だより』の始まり

平成 19 年に就任された森本克廣会長は、これまで専務理事直轄であった総務部門を総務部として独立させ、担当理事に私を指名されました。その背景には、公益法人制度改革関連三法の施行に対して、独立部署による対応の必要性を感じられたことがありました。

私は、本会組織の根本に関わる大事業であること、定款・諸規程の改定や会計制度の整備など極めて難解な作業が必要であることから、「会員の叡智を集めて会員総意」のもとで行われるべきだ、そして、そのためには「会員の先生方への徹底した情報提供」が必要だと考えました。

これまで本会の広報誌としては、「太田川」がありました。平成 9 年、澤田建彦会長時代に創刊されたもので、当初は年 3 回の発刊でしたが、現在では年刊誌となっています。1 年間の会の活動記録を整理し、記録するという意味で非常に意義有るものです。

一方、アップデートな情報を対内広報するためには月刊の会誌が必要だと考えました。政令指定都市歯科医師会を見ても、その多くで印刷製本された月刊の会誌が発刊されており、県内に於いては福山市歯科医師会も製本された会誌を季刊で発刊されています。

そこで私は、森本会長に、「広報部との協力のもと、手作りのガリ版刷りでよいので月刊の会報を作らせて欲しい。」とお願いして始まったのが、『広島市歯科医師会だより』でした。

最初は本当に手作りでした。私が記事の殆どを書き、ワードで体裁を整え、あとは印刷すればいい形にして、事務局に送っていました。2 段組にしたデザインは、当時東京医科歯科大学歯科同窓会広島県支部(小松昭紀支部長、熊谷宏専務理事)が発刊していた「お茶の水ミニ通信」のそれをパクったものでした。

### コンテンツについて

当初はほとんど私が書いていましたが、徐々に各部の先生方にもお願いして記事を書いていただけるようになりました。

まず絶対に必要だと考えたのは、定例理事会報告でした。毎月の各部・各理事の動向、そして理事会での協議内容を公開することは当然のことです。

理事会報告と同様当初から掲載しているのが、「ニュースピックアップ」です。歯科に関するタイムリーな記事や情報をピックアップしてわかりやすく解説するものです。情報の重要性を早くから把握されていた土江健也先生が会長に就任される際に、情報調査部(水内裕之理事)を立ち上げられ、同部が担当してくれていました。

次に、理事会での定例報告事項でもある苦情相談(本会事務局に寄せられる患者さんからの苦情)や本会理事が委員として参加している広島市医療安全推進協議会に報告される苦情・相談の現状について、会員に情報提供したいと考えました。

本会事務局には、毎月数件の患者さんからの苦情が寄せられます。苦情担当理事が対応していますが、本当に過酷な仕事です。患者さんの気持ちに寄り添いながらも、大きな事案にならないように時間を掛けて落とし所を見つけていく理事の努力を見ていると大変申し訳なく思うほどです。

こういう場合、患者さんからの希望等で、担当医へのフィードバックが難しい場合もあります。しかし、担当医のみならずすべての会員がこういった事例を知るとは、必ず医療トラブル回避に繋がります。そこで、苦情相談に加

え、広島市医療安全推進協議会の事例を入手し、個人情報に配慮した形で報告しています。ぜひともご覧いただきたいと思います。

いくつか特集も組みました。思い出深いものとしては、「基礎から学ぶ広島市歯科医師会」「公益法人制度改革ってなあに？」でしょうか。

「基礎から学ぶ広島市歯科医師会」では、普段知っているようで案外知らない、広島市歯科医療福祉対策協議会、入会に関する基本的考え方、全員校医制、在宅寝たきり高齢者訪問歯科診療事業(掲載当時)などを取り上げました。自分自身知らないことも多く、自分の勉強半分で書いていました。

「公益法人制度改革ってなあに？」は、『だより』発刊の当初目的の一つでもありました。基本事項の整理から始まり、公益社団法人と一般社団法人の違いについてまとめ、本会の対応状況を報告しました。文章に書くということは、中途半端な知識では書けません。自分へプレッシャーをかける意味でも意義ある連載でした。

## 会長コラム「柔しく剛く」

日歯広報に当時の大久保会長が書かれたコラムを読んで、会長自らの言葉で会員に語りかけることの重要性を感じました。会長予備選挙が終わり、予定者の段階で、瓜生賢副会長予定者、能美和基専務理事予定者に、会長コラムを書くと言いました。

コラムのタイトルは、「柔しく剛く」としました。これは、私が卒業した安田学園安田小学校の建学の精神です。「人を思いやる優しさと、自らを支える力」を示すこの言葉を選びました。実は、瓜生副会長、能美専務理事も安田小学校の卒業生で、最高のタイトルだ！と賛同してくれました。

47回のコラムでしたが、よくもまあ続けることができたなあ、と今思えば不思議な感じです。退任に当たり、瓜生次期会長には、「別に続けなくてもいいよ」と言いましたが、「僕でやめられるわけがないじゃないですか！」と苦笑いしながらも、「笑門來福」というタイトルでコラムを始めてくれました。『だより』が来ると、まずはコラムから読んでしまいます。

## 新型コロナと号外

新型コロナウイルス感染症のパンデミックの初期においては、「情報不足」が一番の問題でした。私も会長として、とにかく情報を集め、いち早く会員に届ける必要性を感じましたので、理事会で、「号外を出す。毎日でも出す。とにかく出す」と強い口調で発言したことを覚えています。当初は、神奈川県歯科医師会が作成した、「歯科医療機関における新型コロナウイルス感染症への対応指針」が大変参考になりました。これを中心となって作っていた先生が大学の後輩だったので、彼から内緒で送ってもらい参考にしていました。

本会の理事や委員も頑張ってくれました。巷の情報を実際にやってみた報告とか自院での取り組みを紹介してくれました。本当に感謝しています。

ここで、今だから言える話が2つあります。1つは号外の記事、「広島市歯科医師会某氏の日本政策金融公庫“新型コロナウイルス感染症特別貸付”体験記(号外 R2.4.28)」です。この広島市歯科医師会某氏とは私です。コロナ貸付という話が出たときに、これを一刻も早く会員に届けたいと思う中で、「それなら僕自身が借りて、それを報告すれば具体的でわかりやすい記事になるのではないか」と思ったからです。

もう1つは「体験記Case2；会員が新型コロナウイルスに感染しました。(号外R3.1.21)」です。ある時、会員から初の感染者がでたと報告がありましたが、なんとその人は理事でした。事もあろうに私の執行部の理事から感染者第一号が出るなど、正直目が点になりましたが、ピンチはチャンス、彼にすぐ電話をして、「感染した経緯、診療所を含めた対応、保健所とのやり取り、自宅療養、診療再開までの経緯をすべて『だより』の記事にするから書いてくれ！時間は死ぬほどあるはずだ！」と言いました。おかげで、臨場感あるケースレポートを出すことができました。今回本稿を書くにあたり、本人に電話して「名前を出してもいいか？もう時効だろう？」と言い、快く了解してもらいましたが、可愛い後輩なので、やはり理事、ということだけにしておきます。

## おわりに

森本執行部で始めた『広島市歯科医師会だより』は、その後土江執行部において情報調査部(水内理事)と広報部(木村太言理事→橋岡優理事)が、川原正照執行部においては広報部(橋岡理事)が、熊谷執行部でも広報部(水内理事)が、そして現在の瓜生執行部においても引き続き広報部(小島理事)が担当され、今回200号に至ったことは、本当に感慨深い思いです。担当部署の皆様、そして担当事務職員にも心から感謝の気持ちを伝えたいと思います。

繰り返しになりますが、私が『だより』を作りたいと思った理由は、「会員に情報を伝えたい」の一点です。役員だけが知りうる情報、なんてものがあっていいはずがありません。『だより』を担当していただける先生方には、「仲

間に伝えたい」という気持ちを忘れないでいただければと思います。そうすれば、中身は必然的に充実してくると思います。

最後に、会員の先生方へお願いします。発刊 200 号とはいえ、まだまだガリ版刷りの広報誌の域を超えていない『だより』ですが、担当者は思いをもって作っています。是非お読み頂き、感想などをお寄せいただければ幸いです。また、現在は『だより』以外にも「広島市歯科医師会公式 LINE」を通じて有益な情報発信をしています。ご登録いただきたいと思っています。

稿を終えるにあたり、創刊号(H19.5.7)において、森本会長が書かれた「発刊にあたり」の一節をご紹介します。

「執行部は、総力をあげて良質で公平な歯科医療環境の構築に向け努力する責務を負うのに対し、会員は機関決定の場に参画し意思疎通を図ると共に、賛同された事項について責任が伴うという認識が、組織運営のエネルギーとなるのではないのでしょうか。本誌を通じて会員の先生方がこれまで以上に本会についてご理解頂き、また本会のあり方についてお考え頂くことが、次世代につながる広島市歯科医師会を構築する礎になると信じております」

## 行事報告

### 薬と健康のやく薬フェスタ

日時：11月5日(日)午前11時

場所：「広島駅南口地下広場」

広島市薬剤師会主催により標記のイベントが行われた。今回も昨年と同様、本会から「オーラルフレイルって知ってます？」と題して小早川尚史学術部委員長が、口腔領域由来のフレイル及び全身のフレイルについて、

「ハハ姉妹」のアニメーションを流しながら解説を行った。

会場や主催者の薬剤師会から好評を得て終了した。

### 令和5年度「8020」いい歯の表彰式

日時：11月16日(木)午後1時

場所：広島市役所本庁舎 10階「市長公室」

標記の表彰式が、広島市8020運動・歯周病予防推進協議会(本会、安佐歯会、佐伯歯会、安芸歯会、広島市)の主催で松井一寛広島市長臨席のもと開催された。本年度の受賞者は991名であった。昨年同様に縮小開催となり、各地区から4名の代表者のみの出席となった。

初めに、瓜生賢協議会会長より「歯は、私達の健康に欠かせない、大切な臓器であり、きれいに、健康に保つことは、実は簡単ではありません。しかしみなさんは、永年毎日コツコツと努力を重ね、キチンと歯のお手入れをされ、素敵な笑顔と健康を作り上げている、お口の健康リーダーです。8020を達成したお口の健康リーダーとして家族のみなさんやご友人に、歯とお口の健康がいかに体にとって大切かをしっかりと伝えてあげてください。そしてこれからも皆さんがこの健康な歯を生涯にわたって保ち、健康にお過ごしになることができますよう

祈念しております」と挨拶があった。

続いて、松井一寛広島市長より「お口は健康の入り口であります。ぜひ身近な方に歯科健診・受診の大切さを伝えて広めていただき、お口の健康を保ちながら適度な運動もして健康を維持していただきたい」と祝辞があった。その後参加者に表彰状と記念品が贈呈された。

受賞者代表者で本会患者である大畠茂さんより「40歳の頃、不動産会社を開業いたしました。個人事業主となって、虫歯などで歯科医院に通院することで仕事に穴を開けてしまうリスクを感じました。そこで当時通っていた歯科医院からブラッシングとフロスを習い、そこから年に数回メンテナンスで歯科医院に通い続けたことが8020の達成に繋がったと思っております。そしてこれからは9028を目指します」との謝辞があった。

その後、母谷龍典広島市議会議長から来賓祝辞があり、

授賞式は終了した。

本会からは瓜生会長、土屋崇文理事、小島將督理事が参加した。



表彰式の参加者

## 令和5年度 学校歯科医協議会

日時：11月16日(木)午後7時

場所：広島県歯科医師会館 2階「ハーモニーホール」

標記の会が、中川誠地域歯科保健部副委員長の司会のもと開催された。

瓜生賢会長の挨拶に続き、学校歯科医・保育園嘱託歯科医を退任する山崎健次氏(千田小学校)、石嶋誠司氏(江波中学校)、古胡英明氏(井口明神小学校)、今田和秀氏(高須小学校)、福島一則氏(大芝小学校)、田中亮三氏(ふくしま第二保育園・神崎保育園)、が紹介された。御出席の山崎氏と今田氏に瓜生会長より感謝状が贈呈され、退任学校歯科医を代表して今田氏よりお言葉を頂いた。次に、新たに就任する橋本佳子氏(千田小学校)、鎌田浩一氏(江波小学校)、楠橋由規氏(井口明神小学校)、松村英朗氏(高須小学校)、藤田友昭氏(大芝小学校)、小島將督氏(神崎保育園)が紹介された。

続いて、「ハハ姉妹の学校ニュース♪紹介と活用方法について」、濱岡枝枝地域歯科保健部副委員長より説明を行った。

最後に「学校における歯・口の健康づくりSDGs－障害の理解と支援－」と題して、岡田芳幸広島大学大学院医系科学研究科障害者歯科学教授による講演が行われた。

まず、障害の定義、障害の医学的な区分と法律上の区分の違い、そして周産期医療の発達や診断機会の増加により障害者・障害児が増加していることが説明された。障害のある人たちに、障害のない人たちと同じ環境で生活できる社会を作りだすこと。そのために、障害のある人もない人も同じ扱いにすることではなく、合理的配慮により障害者の生活レベルを通常(ノーマル)にすることで、両者の共存をはかるノーマライゼーションの考え方を理解し歯科医療機関としても対応できることが必須であり、歯科保健格差の解消のためには歯科介入率の増加

が大切であることがデータをもとに示された。臨床で必要な歯科に関わる障害特性を、比較的多い自閉スペクトラム症・ダウン症・脳性麻痺の3つに関して詳しく解説された後に、歯科的スペシャルニーズとして、行動形成法・行動支援法・不安軽減法といった行動変容を実際の様子を写真入りのスライドで分かりやすく解説された。学校における歯科健診においては、学校と学校歯科医の連携が大切であり、個々に応じて、かかりつけ歯科医、県歯会が研修を行っているスペシャルニーズ協力医、また広島大学病院障害者歯科を始めとする広島県スペシャルニーズ歯科診療医への紹介の必要性が説明された。

SDGsとは、2015年9月の国連サミットで採択された「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030年を年限とする17の国際目標であり、歯科界においても達成することを求められている時代の潮流に則した、大変有意義な講演であった。

講演終了後、若林大輔副会長の閉会の辞により盛況のうちに閉会した。



岡田芳幸広島大学大学院医系科学研究科  
障害者歯科学教授の講演の様子

# 支部だより

## 中区支部

### 令和5年度 江波圏域多職種連携会議

日時：11月25日(土)午後4時

場所：大手町平和ビル 5階 中区地域福祉センター「大会議室」

コロナ禍があけて実に4年ぶりに標記の会が、山本眞一舟入山本内科クリニックリーダー医の挨拶とともに開催された。

最初に、小西太ほ一むけあクリニック理事長より「身寄りのない認知症高齢者を在宅で支えるために」というテーマでご講演頂いた。

身の回りのことを自分で行える「自助」が難しくなってきた高齢者に対して周りが支える「互助」の環境の大切さ、また、認知症のある高齢者に対しての声掛けの仕方やキーパーソンの大切さ等もご教示頂いた。

後半は「キーパーソン不在だが在宅生活を望む高齢者の今後の支援について」というテーマでグループワークが行われた。キーパーソン不在の独居の方の支援という難しい症例検討だったが各業種の体験談など交えながら活発な議論が行われた。

その後各グループの発表があり、小西講師から総評を頂いた。

最後に田邊徹行中区地域保健対策協議会会長の挨拶があり盛会の内閉会した。

本会からは波田佳範支部長、小島将督氏、辰本将哉氏、長谷川聡氏、森田薫氏が参加した。



会議の参加者

## 東区支部

### 東区地域保健対策協議会 令和5年度 東区在宅サポート研修会 ～ひがしの在宅支援隊～

日時：11月10日(金)午後7時

場所：東区福祉センター 3階「大会議室」

標記の会が[ACP]を多職種で実践する！という標題で、開催された。

金谷雄生東区医師会会長の挨拶で始まり、沖政盛治JR広島病院緩和ケア主任部長による講演「これからか、これまでを変えていく」が行われた。

その後、グループワークにて、架空事例から、ACP(アドバンス ケア プランニング)実践を考えるとのことで、多職種からどのようなタイミングで、ACPの為にどのような声掛けをしたら良いかといろいろな意見がだされた。ACPの実践には、多職種の連携が重要だと再認識させられた。

なお、この会には、東区支部から、尾崎昌康副支部長が出席した。



研修会の様子

## 東区救急蘇生講習会

日時：11月20日(月)午後7時

場所：JR 鉄道病院 3階「大会議室」

JR 鉄道病院にて、「一次救命処置(BLS)~楽しく学びましょう~事業場における救急蘇生」の講習会が寺川宏樹 JR 鉄道病院循環器内科主任部長を講師に開催された。

まずは早期対応の重要性、そして感染対策も行いながらの心肺蘇生の手順、方法の講義を受けた。その後グループに分かれ、実際のシチュエーションを模して倒れている人の意識確認から心肺蘇生、AED の使用まで実習を行った。胸骨圧迫は1分間に100~120回、約5センチの深さということで体力的にもハードであった。この講習会から救命という何物にも代え難い目的のため周囲の皆で協力しながらやり遂げなければならないということを教わった。

この講習会には岩井敏之支部長、浅野真弥氏、木村太言氏、新谷奈穂子氏が出席した。



講習会の様子

## 南区支部

### 令和5年度 南区5包括合同在宅医療・介護関係者研修会・連絡会

日時：10月11日(水)午後7時

場所：南区役所別館 4階「大会議室」

標記の会が「若年性認知症について理解を深めよう」をテーマに開催された。

始めに「若年性認知症について理解を深める」の演題で、佐藤秀樹さとう脳神経外科クリニックによる講演が行われた。認知症、MCI(軽度認知障害)、若年性認知症の概念や定義から始まり、若年性認知症の実態、有病率、病型の内訳、初期症状(若年性アルツハイマー病は高齢者に比べ進行が2倍早い。特にレビー小体型は早い)、特徴(経済的ダメージ、精神的ダメージ、家庭内の課題、異常に気づくが受診が遅れること、適切なサポートが少ない等)、空白期間の長さ(初期段階で支援の必要性が理解されにくい十分な支援を受けられない期間)、患者家族への支援(就労困難、複数介護、孤立・居場所がない、経済的問題、相談窓口がわからない→地域包括支援センターなど)、将来を見据えた中・長期的な支援、認知症の診断・原因疾患について話され、その後、症例報告と現在のアルツハイマー型認知症の治療薬と新薬の展望(レカネマブ：アミロイドβを消しMCIの期間を長くする薬。等)について説明し、Anti Aging→With Agingという言葉を用い「誰でも安心して認知症になれる社会を目指すべきだ」で講演を締めくくられた。

引き続き「支援者のつながりが広がって就労支援ができたケース」の演題で、鈴木晴代南区認知症地域支援推進員と徳島ちょう介護支援専門員の講演が行われた。若年性認知症は職場の上司や同僚から発見されることが多いこと。職場でのミスが多くなり居心地が悪くなって、その後74%が解雇となっていることを報告され、生活課題として一人で悩まず専門医療機関を受診し、誰かと関わり続け活動の場をつくるサポートを受けること、そして慌てて仕事を辞めないこと、とことん相談することを力説された。講演後、各テーブルでディスカッションが行われ閉会の運びとなった。



研修会の様子

## 令和5年度 南区地域医療医歯薬連携研修会

日時：11月7日(火)午後7時

場所：オンライン開催 (Zoom)

標記の会が「薬剤関連顎骨壊死～医歯薬連携の必要性について～」と題して行われた。

始めに渡邊千之県立広島病院消化器センター長による開会の挨拶の後、上綱雅一広島市南区医師会理事を座長に田中正宏マツダ病院整形外科部長により「整形外科医の立場から～顎骨壊死予防のために医師は何ができるのか?～」の講演があった。次に土屋崇文本会理事を座長に神田拓県立広島病院歯科・口腔外科主任部長により「歯科医の立場から～顎骨壊死の予防や歯科的処置について～」の講演があった。最後に田中薫広島市薬剤師会理事を座長に富田隆志広島大学病院薬剤部福薬剤部長による「薬剤師の立場から～顎骨壊死を起こしえる薬剤や使用上の注意点～」の講演があった。

医歯薬それぞれの立場からの講演であったが、顎骨壊死予防のために骨粗鬆治療薬を休薬する意義はなく、医歯薬の連携を強めることが予防に繋がることの事であった。

最後に野島秀樹広島市南区医師会理事から連携にかかわる保険算定のお話の後閉会した。

なおこの会議には南区支部より上田裕次氏、小田正秀氏、中川誠氏、林内優樹氏、藤林多美子氏、松永陽子氏、山本眞理子氏が出席した。



座長を務めた上綱雅一広島市南区医師会理事

## 令和5年度 翠町包括圏域在宅医療・介護関係者研修会・連絡会

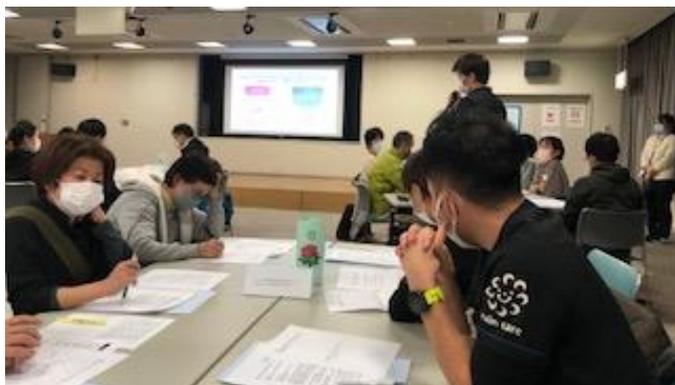
日時：11月15日(水)午後7時

場所：南区役所別館 4階「大会議室」

標記の会が「口から食べられなくなった時を多職種で考える」をテーマに開催された。

始めに「口から食べられなくなった時に備えるACP」の演題で、野島秀樹野島内科医院院長による講演があった。まず、4つの人工的水分・栄養補給法(胃ろう・経鼻経管栄養法・中心静脈栄養法・点滴)についての説明とそれぞれの長所と短所、予後についてを解説された。続いて胃ろうに関する誤解(食物の逆流による誤嚥や、就寝中に肺に入り込む不顕性誤嚥が起こりうること。→肺炎球菌ワクチン接種、口腔ケアや嚥下リハビリなどが必要。)、人工的水分・栄養補給を行わない選択肢について、口から食べられなくなった時本人による意思決定は難しいこと、ACP(人生会議：もしもの時のために、本人が望む医療やケアについて、前もって考え、繰り返し話し合い、共有する取り組み。)について、ACPの説明資料、ACPの時期、共有意思決定支援などについて講演

された。最後に人工的水分・栄養補給の意思決定支援の際に、どのような選択でも「それでよい」と背中を押してほしいことと、「どちらを選択しても最大限お手伝いします。」と伝えることの重要性を強調された。その後、各テーブルで具体的な症例のディスカッションを行い、活発な討論をした後、発表会を行い、野島氏よりアドバイスをいただき閉会の運びとなった。



研修会の様子

## 令和5年度 南区の在宅医療連携を考える研修会

日時：11月20日(月)午後7時10分

場所：オンライン開催(Zoom)

標記の会が、Webにて野島秀樹広島市南区医師会理事の司会で開催された。

最初に、広島厚生病院の在宅連携成功例と困難例として、米川智広島厚生病院理事長から4つの症例のお話があった。それに対して、主治医の立場から松田聡介青崎いぶきクリニック院長とケアマネージャーの立場から、竹内美菜オフィスカルムケアケアマネージャーがディスカッションを行った。

次に、特別講演として、伊藤香帝京大学医学部附属病院高度救命救急センター病院准教授より、「緊急 ACP 救急・集中治療の現場での意思決定支援」題する講演があった。

ACPはもしもの時のために、本人の望む医療やケアについて事前に考え、繰り返し話し合い、共有する取り組みである。

アメリカに比べ、国民の事前指示書所有率が低い日本は、もう少し ACP の取り組みを積極的に行うべきだと考えさせられる講演だった。

その後、上綱雅一広島市南区医師会理事がコメントーターの意見をまとめられ、渡邊千之広島市南区医師会副会長が閉会の挨拶を行われ、無事に閉会した。

南区支部から山本真理子氏が参加した。

## 西区支部

### 第39回 西区民まつり

日時：11月5日(日)午前9時20分

場所：広島サンプラザ及び西部埋立第五公園

標記のイベントが開催された。

COVID-19の蔓延に伴いイベントの規模が縮小された期間もあったが、コロナ禍の収束に伴い4年ぶりに従来の規模での開催となり本支部も久々の派遣となった。11月とは思えないような陽気の中、会場は多くの来場者で賑わった。歯科のブースでは恒例のブレストロンによる口臭測定に79名、歯科相談に16名、矯正相談に10名の来訪があった。これは例年の7割程度の来訪者数で

少々残念でしたが、まだマスクを装着されておられる方も多く、またインフルエンザ流行の兆しもあったため、至近距離かつ対面での測定や相談に多少なりとも抵抗を感じたのかもしれないと推測している。

参加した各歯科医師は解散の午後3時30分まで多忙な一日を送り、帰路に着いた。

なお、西区支部からは平尾慶太支部長、松原博久副支部長、浅川隆司氏、柄博紀氏、山田英太郎氏が出務した。



(左) ブースの様子(右) 参加した西区会員

## 令和5年度 在宅医療・介護連携西区地域保健対策協議会講演会

日時：11月22日(水)午後7時

場所：広島医師会館 3階「健康教育室」

標記の会が、広島市西区地域保健対策協議会主催により石田哲理事の司会の下開催された。

平林一郎地対協会長の開会挨拶の後、北口浩地対協理事が座長となり、岩崎庸子広島市西部認知症疾患医療センター長による「地域でみる老年期精神疾患～認知症との鑑別～」と題した講演が行われた。

講演では「30年ほど前は精神科が扱う患者は若い人が多かったが、今は半数以上が65歳を超えている。認知症以外の高齢者の精神症状には、幻覚妄想と感情障害がある。

幻覚妄想には妄想性障害や遅発性パラフレニーがある。せん妄との鑑別も必要である。妄想性障害は長い間一つの妄想(例えば透明人間がいるなど)がずっと続いている。幻聴はまれで中年期に発症することが多く女性に多いし薬が効かない。遅発性パラフレニーは薬が効くが難聴の方が多い。妄想以外では自立して問題なく生活していることが多い。妄想性障害の治療では主治医との信頼関係を築くことが大切である。妄想を否定せず感情面に焦点を当てたアプローチをするとよい。高齢の方で妄想がある場合、いつからあるかを確認し30代からとなれば、あるいは幻聴があるようだと薬が効く統合失調症を疑う。

感情障害にはうつ病がある。興味や喜びの低下、しゃべれないなどの抑うつが2週間以上続いているとうつ病である。睡眠薬の効かない不眠はうつ病やせん妄を疑う。うつ病を見過ごしてだらだら続く場合免疫系への影響がある。うつ病の有無が身体疾患の予後を左右する。うつ

病は認知症のリスクファクターでもある。希死念慮には特に注意が必要である。

まとめとして、高齢者の精神疾患を疑う場合、せん妄や明らかな認知症を除外し、うつ病なのか妄想性障害、遅発性パラフレニーなのかを鑑別する」などの話があった。

最後に、隅田伸二地対協副会長の閉会挨拶により終了となった。

その後、懇親会が行われ多職種での意見交換が行われた。

なお、西区支部からは平尾慶太支部長、岡田浩幸氏、林優美氏、山崎香氏、以上4名の会員と1名の天間和美会員診療所勤務歯科医師の計5名が参加した。



講演会の出務者



## インボイス制度について(歯科医院・「受け取る側」編～)



中田稷委員

今回は歯科医院におけるインボイス制度について、「渡す側」になるときの対応について記載しました。今回は業者などからインボイスを「受け取る側」になった際の留意事項について説明します。

「受け取る側」では、まず取引業者にインボイス登録番号を請求書(領収書)に記載してもらう必要があります。そして受け取った請求書(領収書)は7年間の保存義務があります。

非常に重要なのがテナントの賃料です。診療所の賃料は消費税も併せて請求されています。テナントのオーナーがインボイス登録事業者かどうかは確認しないとわからないため必要に応じてオーナーや管理会社に確認しましょう。賃料は特殊な例を除き支払いの都度インボイスをもらうことはありません。そのため、インボイスの要件を満たす契約書に修正する、別紙で消費税率、消費税額を示してもらうなどの対応が必要になる場合があります。

取引先や経営状況をよく把握し、顧問税理士など専門家のアドバイスを参考に判断ください。

### ～歯科医院におけるインボイスまとめ～

#### ○渡す側

- ・免税事業者ではインボイス制度登録の必要はない
- ・課税事業者の場合インボイス制度登録申請を検討する
- ・レアケースではあるが、インボイス対応の領収書を求められた時のために手書きの領収書(インボイス対応)の準備やレセコン会社へ相談しておく

#### ○受け取る側

- ・インボイス登録領収書、請求書を保管する
- ・必要に応じて家賃のインボイスをテナントオーナーへ依頼する

参考文献：アポロニア 2023.9月号

国税庁の特設サイトホームページ



### 学術部

## ちょっと一息、サメ肌と歯の発生や他の動物の歯

歯は脊椎動物の口腔内に植立する石灰化した咀嚼装置で、生涯を通じて食物の摂取に機能する重要な器官です。歯の形態は動物の種や食性に依りて極めて多様であり、その数と植立様式、発達の仕方や交換様式に至るまで実に変化に富んでいます。歯の起源は古生代の無顎類の外骨格に遡ることが出来ると言われ、現生の脊椎動物ではサメの鱗、楯鱗(じゅりん)にその原形がもとめられます。事実、サメの楯鱗は象牙質とそれを覆うエナメル質様の硬組織(エナメロイド)で構成されています。サメは全身をこのような歯と類似の硬組織が密に敷き詰められた皮膚で覆われているのです。この為、サメの楯鱗を皮歯と呼び、口腔の顎堤に植立する大型の歯を顎歯と呼んで区別することがあります。

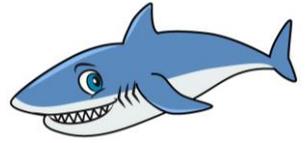
魚類や爬虫類の歯の交換様式は多くが多生歯性で、生涯にわたり幾度となく歯が生えかわります。脊椎動物は高等なものほど歯の交換回数は減少する傾向にあり、ヒトをはじめとする現生の大型哺乳類の多くは一生歯性ないし二生歯性で、歯は生涯に一回交換するのみです。



小早川尚史委員長

ネズミなどの小型のげっ歯類は歯が交換することはありません。平均二年ほどの生涯を支えるのは一生歯のみです。彼らの切歯は興味深いことに無根歯とよばれ、生涯歯冠の形成が止むことなく萌出し続けるのです。

また、動物の食性の変化が歯の退化に繋がり、歯を失ったと見做される例も多くあります。その典型がヒゲクジラであり、ヒゲクジラの胎仔には多数の歯胚が形成され、硬組織が形成されますが、その全てが出生前に変性・消失をする、もしくは矮小歯として顎の内部に未萌出のまま留まります。



このように歯には想像を超える多様性があり、その意味するところが明らかになるにはまだまだ時間が足りないそうです。しかし、少なくとも高等脊椎動物においては、いずれの歯においても発生の基本的な仕組みはほぼ共通しています。

今回はヒトの歯の発生を見て行こうと思います。

※この文章は口腔組織・発生学 第二版(2023年1月20日第十刷発行)を参考にさせていただきました。

---

---

## 厚生部

---

---

### 新厚生部委員紹介

初めまして、7月より新しく厚生部に所属した八丁堀かわむら歯科の河村道彦です。この度は先月の広島市歯科医師会会員紹介の際にご協力頂いた八丁堀歯科の前田先生に、早速ボウリングを教えてくださいましたのでご報告します。



河村道彦委員

練習当日、前田先生がいつも練習されている中区八丁堀のパークレーンに診療後に集合し、まずは前田先生とパークレーンスタッフのボウリングプロにコツを教わりました。その中で理解できたポイントをいくつかご紹介します。

- ① 体が斜めにならないようにレーンに対してまっすぐ向いて立ちます。
- ② ボールに無理な力をかけず、リリースする際には握手をするような手の角度になるよう心がけます。
- ③ レーンには手前に矢印があり、これらを目視し、目標とするピンへの方向を調整します。

さらにマイボールは、手のサイズや形状に合わせてフィッティングされているため、しっかりとコントロールできるそうです。またそれぞれのレーンでオイルパターンやコンディションが異なり、同じ軌道で投げてもボールの挙動が変わるため、実際の試合では、レーンを交互に変えながら試合を行うとのこと。異なるレーンのコンディションに対して、ボールの選択や投球のアプローチを変えることで対応するようです。ボウリングの奥深さに驚きました。



なんとこの日はプロの方が僕たちの練習に付き合ってください、初めてボウリングの指導を受けながら練習をしました。その結果、通常よりもスコアも伸び、さらにリリースなどの反省点も参加者どうしでお互いにフィードバックし合う白熱した展開になりました。前田先生、貴重な経験をありがとうございました。

最後になりましたが、前田先生のグループでは、ハズレなしの景品つき月例会を開催されているそうです。また、パークレーンさんでは野球のシーズン中は大画面でのパブリックビューイングとボウリング投げ放題が同時開催されるそうです。ボウリングがお好きな方はもちろん、苦手な方も赤ヘルの活躍を見ながら楽しむのはいかがでしょうか？

#### ～厚生部からのお知らせ～

先生方の趣味に関する記事を募集しております。先生ご自身のこだわりの趣味について、広島市歯科医師会だより1ページ分、ご披露いただけますと幸いです。奮ってご応募ください！

～ハハ姉妹の学校ニュース《8時間目》「歯医者さんが使う道具」～

ハハ姉妹の学校ニュース  
デジタル版《8時間目》  
広島市歯科医師会キャラクター「ハハ姉妹」

### 歯医者さんが使う道具

歯医者さんが治療の時に使う道具の一部を紹介します。

**歯鏡（ミラー）**  
丸い小さな鏡で、歯の裏やお口の中の見えにくいところを調べることができます。

**3ウェイシリンジ**  
水を出して歯やお口の中についた汚れを洗い流したり、空気を出してふきとばしたりします。水と空気をまぜて、霧のようにして吹き出すこともできます。

**歯科用エアータービン**  
先の部分に装着したダイヤモンドバーを空気力で1分間に30万～40万回転させます。とても熱くなるので、水で冷やしながらむし歯をけずります。

**口腔内バキューム**  
治療の間にお口の中にとまった唾液や、機械から出た水を吸い取ります。

**歯医者さんからのメッセージ**  
今回紹介した道具だけでなく、歯医者さんには使い方を間違えると危険があったり、清潔にしておかないといけないものがたくさんあります。歯医者さんでは勝手に器具や機械を触らないようにしましょう。

前田羊一先生

8020  
80歳になっても  
20本以上自分の  
歯を保とう

活用法の一例。顔写真とお名前はご自由に改変ください。

※今回は地域歯科保健部 前田羊一先生他が作成いたしました。

ハハ姉妹学校ニュースは、患者さんへの説明の為に作成しております。

PDF は下記 URL または QR コードよりダウンロードください。

<http://www.hiroshima-da.com/hahanews>



## 各部からの報告

### 総務部

広島市医療安全推進協議会より 「こんな医療トラブルが起こっています」

広島市医療安全支援センターに寄せられる苦情・相談の現状について具体的相談事例を報告します。なお、個人情報保護の観点から、相談者の個人特定が行われないうに、相談内容に関しては、若干の修正を加えております。

事例：治療中の不快症状について

奥歯の治療を受けた際、口角が切れた。初めてのことで治療を継続するか転院するか迷っている。

（センターの対応）

治療中の医院に現状を伝えてみるよう提案した。

（コメント）

治療中に痛みや不快症状がないか確認し、生じた偶発症についてはきちんと説明し、謝罪しましょう。



### 令和5年度 全国学校保健・安全研究大会(Web参加)

日時：10月26日(木)午後1時

10月27日(金)午前9時30分

場所：神戸文化ホール・神戸市立中央体育館

標記の会が「生涯を通じて、心豊かにたくましく生きる力を育む健康教育の推進～自ら健康課題の解決に取り組み、未来を切り拓く子どもの育成～」を主題としてハイブリッド形式で2日間にわたり開催された。

26日(木)は開会式および表彰式に続いて記念講演が行われ、曾良一郎神戸大学大学院医学研究科デジタル精神医学部門特命教授にお話しいただいた。テーマは、「ネット・ゲーム依存の成り立ちと対応」で、ネット・ゲーム依存はここ10年で疾患概念が定まり、ようやく診断基準が設定されたところであるが、今後も深刻化する可能性が高いと考えられる為、教育界、行政、医学界の理解と顕密な連携の必要性があることを熱心に講演され、大変興味深い内容であった。

27日(金)は課題別研究協議会が行われ、以下の10課題に分かれてそれぞれ協議を行った。

第1課題 (学校経営と保険組織活動)：心豊かにたくましく生きる力を育むための特色ある学校経営と組織活動の進め方

第2課題 (保健管理)：生涯を通じて健康の保持増進を目指す学校、家庭及び地域との連携を図った保健管理の進め方

第3課題 (心の健康)：豊の人間性と社会性を育み、心の健康の保持増進を目指す教育の進め方

第4課題 (現代的健康課題)：多様化する現代的健康課題に適切に対応するための保健活動の進め方

第5課題 (歯・口の健康づくり)：生涯における健康管理の基盤となる歯・口の健康づくりの進め方

第6課題 (学校環境衛生)：快適な学校環境づくりを目指す学校環境衛生活動の進め方

第7課題 (喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育)：安全で豊かな社会と健康を守り育てるための喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の進め方

第8課題 (学校事故防止対策)：事件や事故、災害を未然に防ぐ事前の危機管理や発生時の適切な対応について

第9課題 (教科等における安全教育)：発達段階に応じた効果的な安全教育について

第10課題 (関係機関等との連携による安全の体制整備)：学校・家庭・地域が連携した効果的な安全体制整備の在り方と通学路における安全確保の方策について

特に歯科に関わる第5課題では、「生きる力」を育む歯と口の健康づくり、児童生徒の発達段階と学力の三要素を踏まえて、安井利一明海大学名誉教授による講義があり、その後具体的な取組についての報告がなされ、活発な議論が交わされた。学校における歯・口の健康づくりに関しては、むし歯の予防を中心とした取組が継続・実践され、大きな成果を上げてきた。一方で、近年では新たな課題も生じており、歯及び口腔の健康の保持と正常な発育・発達のための指導と管理は、今後も継続が必要であると強く感じた。

なお、本会からは、地域歯科保健部より濱岡代枝副委員長がWebで参加した。

## 広報部

記事の詳細確認は自己責任にてリンク先をお願いします。

最新記事はホームページにてご覧ください。各記事のQRコードをスマートフォン等で読み取っていただければ、該当記事のページにアクセスできます。(リンク切れはご容赦願います。)

### 12月1日より松風 PEEK が大臼歯 CAD/CAM 冠材料として保険適用可能にも

<https://www.whitecross.co.jp/articles/view/2926>

厚生労働省は11月22日より松風 PEEK が大臼歯 CAD/CAM 冠用材料として保険適用可能になることを発表した(医療機器の保険適用について・令和5年12月1日収載予定)

保険適用は、令和5年12月1日より開始される予定である。



考察

今回 CAD/CAM 冠用材料で保険適用された PEEK とは、スーパーエンプラと呼ばれる高機能性プラスチックの1つのポリエーテルエーテルケトンのことで、高い機械的強度など優れた物性を有しており、工業分野では金属代替材料として使用されている材料になります。破折しにくいことから既存の CAD/CAM 冠用材料では対

応できない第二大臼歯にも適応可能なるとのことです。これにより保険治療において、単独の歯冠修復ですべての歯にメタルフリーで治療が可能になりました。僕は大学職員時代に PEEK が CAD/CAM 冠用材料として保険適応されるために基礎・臨床研究をしていたので、ついに保険適応され嬉しく思います。色調などは既存の

CAD/CAM 冠用材料には劣りますが、破折の心配はありませんので、第二大臼歯で使用してみてください。



柄博紀委員

## 大分県の市民病院、会計システム「ランサムウェア」感染…電子カルテに影響なく診療は継続

<https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20231121-OYT1T50061/>



大分県中津市は 20 日、市民病院の財務会計システムが身代金要求型のコンピューターウイルス「ランサムウェア」に感染したと発表した。医薬品などの取引業者名や代表者名、口座に関する情報などが暗号化され、外部に流出した恐れがある。同システムは専用回線を使っていたため、電子カルテシステムなど病院内の他のシステムへの影響はなく、通常の診療業務に支障は生じていないという。

考察

今回は会計システムとカルテシステムが別の回線だったために会計システムのみ被害でしたが、それでも機密情報が漏れたことには変わりないと考えます。我々歯科医院においてもオンラインでの業務が増えており、私自身セキュリティなどよくわかっていないままで使用している状態です。自院のオンラインに関するセキュリティがどうなっているのか、またこのような事案が起きたらどう対処するべきなのか今一度しっかりチェックする必要があると思います。



小林裕子副委員長

## 葉酸が口蓋裂の発症を予防する仕組みを解明

[https://resou.osaka-u.ac.jp/ja/research/2023/20231027\\_2](https://resou.osaka-u.ac.jp/ja/research/2023/20231027_2)



大阪大学は、モデルマウスにおける研究により、葉酸が口蓋裂の発症を予防する仕組みを解明したことを発表した。口蓋裂は様々な環境因子や遺伝要因による多因子性遺伝疾患であり、未だ病態発生のメカニズムは十分に解明されていなかったが、Stat3 シグナルの活性化とそれに伴う p63 の抑制が口蓋突起の癒合に重要であること、このシグナルの不調が癒合不全の一因であることをマウスモデルで明らかにした。さらに、葉酸が Stat3 の賦活化を介して p63 を抑制することで、口蓋突起の癒合不全の解消に寄与することが示された。本研究の成果より、口蓋突起癒合部の p63 発現の制御に影響を及ぼす遺伝要因と環境要因を明らかにすることで、葉酸による口蓋裂のより効率的な個別化

予防の実現に寄与することが期待される。

考察

私は口腔外科分野のことに疎く、口蓋裂の発生メカニズムが複雑で解明されていないことを知りませんでした。妊婦さんが赤ちゃんのために葉酸を摂取するというのはなんとなく聞いたことがありますが、何のためかは知りませんでした。今回の記事を書くにあたり調べてみると、妊活中や妊娠初期に葉酸を摂取することで、神経管閉鎖障害という先天異常の発生リスクが減少するそうです。食事からの摂取は難しく、サプリメントからの摂取が推奨されています。この研究がより周知され、少しでも口蓋裂患者が減ることを祈りたいです。



永井亮委員

## カテキン×フッ化物でむし歯の予防効果アップ！ 口腔細菌が作り出す「酸」を効率良く抑制するための方法を発見

<https://www.tohoku.ac.jp/japanese/2023/11/press/20231102-02-catechin.html>



カテキンには、抗酸化作用や抗炎症作用などさまざまな健康効果があることが知ら

れています。口腔内では、むし歯の原因となる微生物の成長と、代謝産物として排出される「酸」の産生を抑制することで、むし歯を予防する可能性があります。一方、フッ化物は歯の修復・強化に加え、微生物の酸の産生を

抑制することで、むし歯を予防することが知られています。

東北大学大学院歯学研究科口腔生化学分野の高橋信博教授、鷲尾純平准教授、安彦友希助教の研究グループは、四川大学華口腔医学院と共同で、カテキンとフッ化物の組み合わせが口腔内微生物による酸の産生を効率よく抑制することを明らかにしました。特に、むし歯の起こりやすい酸性環境で、その効果が高まることが分かりました。

本成果はむし歯予防法の新規開発に貢献できる可能性があり、さらに詳細な研究や臨床研究を通じて、その実現が期待されます。

本研究成果は、2023年10月18日に国際学術誌Caries Researchでオンライン公開されました。

考察

カテキン+フッ素と聞いて、真っ先に思い出されるのは緑茶です。同じ東北大学からは「緑茶を1日4杯以上飲んでいる人で約1.6本の歯が多かった～特に1か月に会う友人の数が少ない人に効果大～」との報告もあります。効率の良いむし歯予防法の開発につながりそうな報告ですので、今後に期待しましょう。



三保浩一郎委員長

## 歯の治療中、目は「開ける or 閉じる」どっち？現役歯科医にも、正直どう思っているか聞いてみた

<https://news.yahoo.co.jp/articles/26c76d8875f8736441f02549cf4ca490cfea2897>

歯医者さんで治療してもらう時、地味～に悩ましいのが、「目を開けるか閉じるか」ということ。みなさんはどうしていますか？男女572人にアンケート調査を実施。



「歯の治療をされている時、目は開けるか閉じるか」を聞いてみました。

考察

調査結果より治療中、目を閉じていると答えた人の割合は8割を超えていた。開けている理由で一番多かったのは「怖いから」という理由であった。

元来私自身、目を開けて治療を受けられる患者さんを苦手としていた中で、今回のデータは大変腑に落ちる内容であった。術者のやり易さを優先させることも重要だが、患者さんの本心を知り寄り添うことも必要だと再確認させられた。



小島将督理事



## 【公式】広島市歯科医師会広報チャンネル

ぜひご視聴ください。チャンネル登録をお願いします。

10月4日放送分

「矯正治療のお悩み相談」

広島市歯科医師会 花岡宏一氏

<https://x.gd/QFUNz>



10月18日放送分

「知ってほしい歯のお話」

広島市歯科医師会 小島将督氏

<https://x.gd/lpw2R>





FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」サイマルラジオ

「お口の健康広場デンタルパーク」 広島すまいるパフェ 第1・3水曜日午後0時50分から

12月6日放送分

「学校歯科健康診断で歯肉炎を指摘されたら」

広島市歯科医師会 細原賢一氏



学校の歯科健診項目の一つ、歯肉炎についてお話しします。歯肉炎について、むし歯ではないからと軽視していませんか？子どもの歯肉炎を放置すると、成人してからの歯周病につながる恐れがあります。広島市歯科医師会で学校保健担当理事の歯科医師 細原賢一さんがお話しします。

12月20日放送分

「オーラルフレイルとは」

広島市歯科医師会 藤田友昭氏



心身の機能が低下し、要介護状態に陥る可能性が高まっている状態を「フレイル」といいます。その「フレイル」の入り口になっていると言われる、噛む・飲み込むといった口腔機能が低下した状態である「オーラルフレイル」について広島市歯科医師会の歯科医師 藤田友昭さんがお話しします。

## 会員ひろば

### 新入会員紹介



浅野真弥

広島市歯科医師会会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。この度、広島市歯科医師会に入会させていただきました浅野真弥と申します。私は広島大学を卒業後、広島市中区の歯科医院で勤務をさせていただいておりました。この度、ご縁をいただき東区戸坂に10月23日より「つむぎおとなこども歯科」を開業させていただいております。微力ではありますが、地域医療に貢献できるよう精進して参ります。入会に際しましては、多くの先生方にご指導・ご助言を賜り、誠にありがとうございました。まだまだ未熟者で、先生方にはご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、今後ともご指導ご鞭撻のほど、宜しく申し上げます。

広島市歯科医師会は会員の皆様に対する情報提供の一助として会員専用のLINE公式アカウント(非公開)を開設しました。



LINE 公式アカウント  
友達募集中！



「@698zzzkc」で検索

このアカウントは非公開のものです。  
広島市歯科医師会会員にのみ配信します。会員のみ登録をお願いします。  
登録後のウェルカムメッセージに会員氏名を必ず返信してください。

#### 今までの配信内容

11月24日配信 令和5年12月31日までに電子情報処理組織の使用による請求を開始していることとして  
いる医療機関等における医療情報・システム基盤整備体制充実加算の特例について(注意喚起)

新規登録時に管理者側には登録した方の情報は届きません。必ず「自分の名前」「自分の診療所名」を  
下段のテキストボックスに入れて送信してください。

早いもので今年もあと2週間少々になりました。子供たちはクリスマスにサンタさんが来てくれるかどうか、ドキドキしながら待っていることでしょう。うちの両親はクリスマスになるとデパートに私を連れて行き「なにか欲しい物あったら買っていいよ」って感じだったので、私は小学校に上がる前からサンタさんが夜こっそり部屋に来て・・・なんてのはまるで信じていない可愛げのない子供でした(笑)。なので自分の子供には、と思いいあれこれ手を尽くして、彼は小学校4年生くらいまではサンタさんを信じてましたね。してやったり♪

私は無信心なほうではありますが、先祖を弔ったり家族のお葬式をお願いしたり、平素から一番おつきあいが深いのは浄土真宗のお寺さんです。日本人の多くは神社やキリスト教教会で結婚式をして、バレンタインデーやクリスマスで大騒ぎして、お寺でお葬式をしてお墓にはいきます。よく考えると宗教のご都合主義にもほどがあるのですが、今やすっかり当たり前です。仏教徒ならクリスマスより灌仏会だろ！と言ったところで、灌仏会がなんのかご存知ないかたのほうが多いかもしれません。そしてほんの30年前にはその存在すら知らなかったハロウィンは今や一大イベン

トです。でもそのわりにイースターやサンクスギビングデーは見向きもされなかったり・・・まあどこかの商魂逞しい企業が上手くやったかやらなかったか、という差なんでしょうけど、日本人には他の宗教のイベントだろうがなんだろうが、楽しそうなものは上手く楽しむ資質があるんだろうと思います。

翻って世界に目を向けてみますと、異教の記念日を祝うなど言語道断！というところも多いようです。イスラム教徒やユダヤ教徒がクリスマスを祝うことなどありえないと言っているでしょう。もちろんそれが当たり前ではあるんですけど、異教徒を敵だとみなして攻撃する、なんてことがもう何千年と続いているのはつらいことです。宗教というのは人々が心穏やかに安らかに日々を暮らすためにあるものだと思いますが、実際には宗教がらみのテロや戦争というのはたくさんありますし、現時点でもイスラエルとハマスの争いは大きな問題になっています。戦争には多くの原因がありますが、そのひとつが宗教の違いによるものだなんて悲しすぎますよね。

先月、神在月の出雲では「神迎神事」が執り行われ、八百万の神が出雲大社へ集われ、人々の幸せの御縁を結ぶ会議である「神議」が行われ

会長コラム (第6回)

# 笑門來福 クリスマス

瓜生 賢

たとされています。排他的—神教を信じる人々には「八百万の神」という概念は理解し難いかもしれませんが、「俺はこの神様を信じているけどあの人は別の神様を信じてる。信じる神は違ってもみんなが幸せになるといいよね」とは思ってもらえないものでしょうか。世界の宗教指導者のみなさんにはぜひ一度出雲大社にご参集頂き、宮司さんのお話を聞いて頂きたい。ニュースでガザの惨状を見るたびにそう思わずにいられません。

特定の宗教を突き詰めていくことも大切なのですが、我々日本人のようにある意味能天気イベントとして楽しんでじゃうくらいの鷹揚さも大切なんじゃないでしょうか。そんなことを思いながら、12月23日の本会クリスマスパーティに臨みたいと思います。今年は例年以上に多くの方にご参加頂けるようで、執行部一同張り切ってお待ちしております。それでは、素敵なクリスマスを！

# 11月定例理事会報告

## 「部外報告」

- 11月 2日 社会保険診療報酬支払基金再審査  
 (県歯)会員サポート室会議  
 (県歯)理事会
- 11月 5日 第6回薬と健康の「やく薬フェスタ」  
 11月 8日 広島県歯と口の健康週間関連表彰式  
 (歯科保健文化賞他)
- 11月13日 広島赤十字・原爆病院地域医療支援病院運営委員会
- 11月14日 令和5年度(第47回)広島県産業安全衛生大会
- 11月15日 広島県国保連合会歯科再審査部会  
 【Web】広島市連合地区地域保健対策協議会「地域医療検討委員会」
- 11月16日 令和5年度「8020」いい歯の表彰式  
 新規個別指導立会  
 国保組合理事会
- 11月16-20日 広島県国保連合会歯科審査部会
- 11月19日 広島歯科技工士専門学校創立50周年記念式典並びに同窓会発足50年記念大会
- 11月21-26日 社会保険診療報酬支払基金審査

## (連盟関係)

- 11月 5日 自由民主党広島政経文化講演会並びに懇談会

## 「総務関係」

- 11月16日 令和5年度学校歯科医協議会  
 11月20日 三役会  
 11月22日 定例理事会

## (慶弔関係)

- 10月14日 日本歯科医師会会長表彰  
 西区支部 林優美先生
- 10月30日 中区支部 仁野克明先生ご母堂様ご逝去
- 11月 3日 中区支部 荒川信介先生  
 旭日小綬章受賞  
 外部監事 篠原敦子税理士  
 黄綬褒章受章
- 11月16日 広島市優良技能勤労者表彰  
 小島歯科医院 中村幸氏
- 11月17日 広島市長表彰(保健医療事業功労)  
 東区支部 能美和基先生

## (入会退会関係)

- 11月14日 入会前面談(濱本結太先生)  
 入会前面談(藤原由起子先生)

## (県歯理事会関係)

- 11月 2日 (県歯)理事会

## (1) 総務部 (大井手理事)

- 10月28日 (県歯)医療管理学会  
 10月31日 休診レセプト点検

- 11月 8日 (県歯)医療管理部  
 11月14日 入会前面談(濱本結太先生)  
 入会前面談(藤原由起子先生)

## (2) 学術部 (花岡理事)

- 11月 5日 第6回薬と健康の「やく薬フェスタ」  
 11月10日 定例委員会

## (3) 厚生部 (谷理事)

- 11月 1日 クリスマスパーツ景品買い出し  
 11月 7日 定例委員会  
 11月 8日 (県歯)福祉厚生・育成部常任委員会  
 11月22日 新年互礼会打合せ(ハーモニーホール)

## (4) 地域歯科保健部

- 11月17日 定例委員会

## <地域保健> (土屋理事)

- 11月 7日 【Web】令和5年度広島市南区地域医療  
 医歯薬連携研修会  
 11月14日 令和5年度(第47回)広島県産業安全衛生大会  
 11月16日 令和5年度「8020」いい歯の表彰式  
 広島市障害者差別解消支援地域協議会

## <地域連携> (藤田理事)

- 11月 2日 後期高齢者歯科健診協力医個別研修  
 西区介護認定審査会  
 11月 5日 自由民主党広島政経文化講演会並びに懇談会  
 11月 8日 中広・観音・己斐3包括合同研修会事前打ち合わせ  
 11月 9日 大芝認知症カフェ講演  
 西区介護認定審査会  
 11月13日 FMちゅーピー収録  
 11月14日 令和5年度第4回広島市社会福祉審議会  
 高齢福祉専門分科会  
 11月16日 令和5年度学校歯科医協議会

## <学校保健> (細原理事)

- 11月13日 FMちゅーピー収録  
 11月16日 令和5年度学校歯科医協議会

## (5) 広報部 (小島理事)

- 11月 7日 校正委員会(だより11月号)  
 11月13日 FMちゅーピー収録  
 11月16日 令和5年度「8020」いい歯の表彰式

## FMちゅーピー (放送日)

- 12月 6日 「学校健康歯科健診で歯肉炎を指術されたら」  
 広島市歯科医師会 細原 賢一氏  
 12月20日 「オーラルフレイルとは」  
 広島市歯科医師会 藤田 友昭氏

(6) 広島市歯科医師会ホームページについて

ホームページアクセス数  
一般サイト 訪問者 1,661 (累計 130,928)  
ページビュー 10,836 (累計 1,563,105)  
会員サイト 訪問者 196 (累計 30,370)  
ページビュー 557 (累計 291,705)  
LINE 公式アカウント 登録者数 11月 15日 137名

(7) 特別委員会

11月22日 新興感染症対策特別委員会

(8) 救急蘇生委員会

(9) 各部事業計画について

(10) 歯科医療安全相談

11月 8日 児童相談所保護の子供の治療について  
(母親) 11/14にも電話あり

「協議事項」

- (1) 入会について (3名)  
中区支部1名、西区支部2名継続審議中
- (2) 会費について (3名)  
診療状況変更による会費額変更について1名承認、診療形態の変更による会費額変更について2名承認
- (3) BCPの検討について  
内容について協議

(4) クリスマスパティーについて  
内容について協議

(5) 医療管理講習会について  
講師の先生について説明

(6) 新年互礼会について  
当日のスケジュールについて説明

(7) 令和5年度広島市歯科医師会第2回学術講演会  
講師の先生について説明

(8) 広島市立学校、保育園等への歯科保健資料の寄贈について  
寄贈物について説明

(9) 令和5年度カーブ健診について  
当日のスケジュールについて確認

(10) 令和5年度広島市地域包括支援センターと圏域歯科  
医師との研修会について  
当日の内容について協議

(11) 市民公開講座について  
内容について協議

(12) 年賀状宛先確認について  
名簿確認

(13) GSKヘルスパートナー(グラクソスミスクライ  
ン)からの周知依頼について  
内容について協議

(14) その他  
十三大市歯科医師会開催について協議

「その他」

特になし

会員の皆様へ

広島市歯科医師会だよりに関するご意見やお問い合わせは、各記事に担当部がある場合は、担当部の理事あてにお願いします。それ以外については、広島市歯科医師会事務局ないしは広報部担当理事小島将督までお寄せ下さい。

広島市歯科医師会事務局  
広報部担当理事 小島将督

E-Mail: hiroshima@dentalpark.net  
E-Mail: kojima.d.c@icloud.com

広島市歯科医師会ホームページ

<http://www.hiroshima-da.com/>

会員専用ページ

ユーザー名 : Futaba

本会PASS : 2622662

協議会PASS : welfare

投稿記事締め切りは毎月25日です。

ご協力をお願いします。

事務局までメール(上記)投稿

お願いします。

広島市歯科医師会の住所及び連絡先

〒732-0057

広島市東区二葉の里3丁目2番4号

広島市歯科医師会 TEL : 082-262-2662

FAX : 082-262-2668

休日診療専用電話 TEL : 082-262-2672

